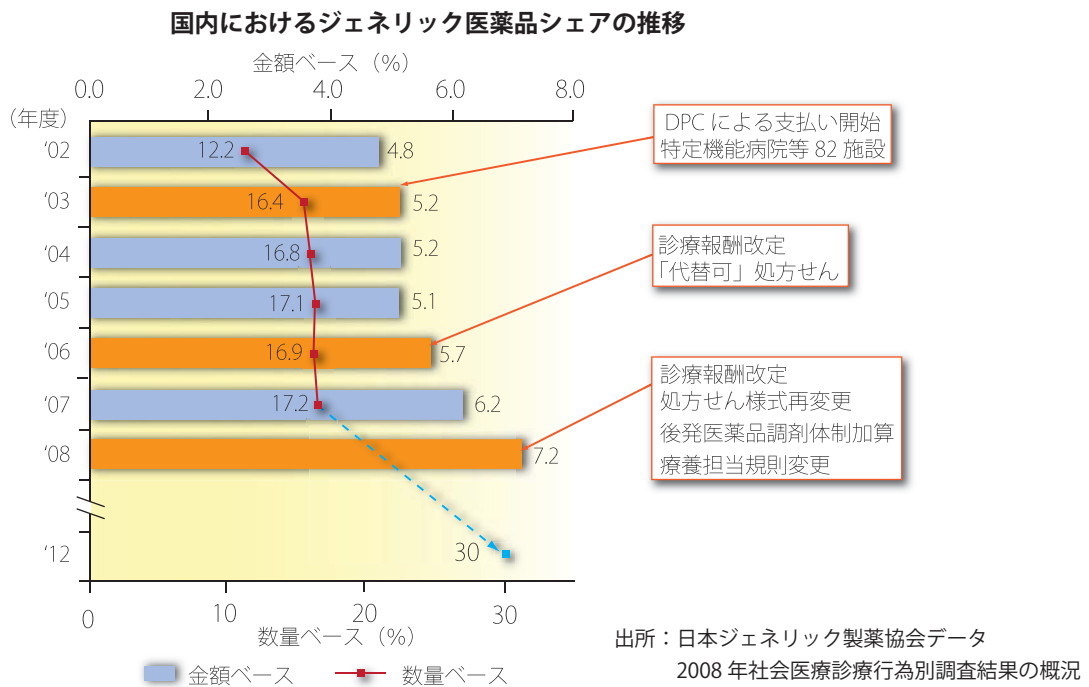


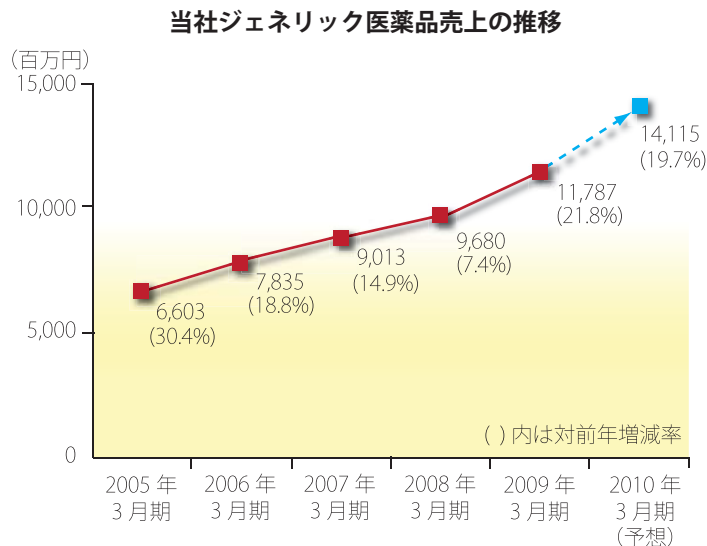
Generics Expansion

加速する高齢化を背景に膨張する社会保障費。その中でも特に医療費の効率化に関する問題は、重要な課題として国民の関心を集めています。国はその対策の一つとして、2012年度までにジェネリック医薬品の数量シェアを30%に引き上げることを目標に掲げており、様々な使用促進策を打ち出しています。

当社はこのような環境変化に先駆け、2000年からジェネリック医薬品の販売を重要な戦略の柱として位置づけ、取り組みを強化することで着実な成果を上げてきました。



2009年3月期において、当社のジェネリック医薬品売上高は、前期比21.8%の増収となり100億円を突破しました。2010年3月期においても、引き続き前期比約20%の増収となる約141億円を見込んでおり、さらなる成長を期待しています。



好調なアムロジピン錠「ケミファ」

ジェネリック医薬品のうち、2008年7月に発売したアムロジピン錠「ケミファ」についてご紹介します。先発薬市場はおよそ2,000億円というアムロジピン製剤ですが、後発品34社が参入し、注目を集めました。日本ケミファでは当該製品の上市にあたり、1年以上前からプロジェクトを立ち上げ、最も重要な戦略製品として取り組んで参りました。アムロジピン錠「ケミファ」には以下の様な特長があります。



特長ある製品設計

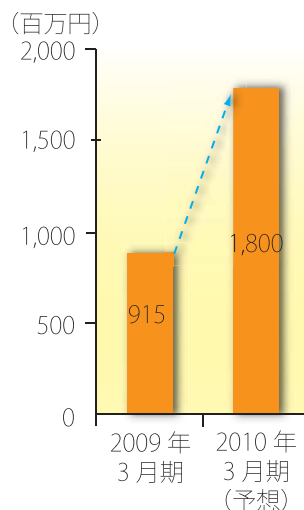
- ・PTPシートにユニバーサルデザインを採用
識別しやすいフォントと艶消しアルミシートで見やすさを向上
- ・PTPシートのサイズ変更により調剤時の取り違えを防止
ウィークリーシート（14錠）のサイズを10錠シートよりも長いサイズに設計
- ・薬局ニーズに応える140錠包装の設定
ウィークリーシートにも最小包装をご用意致しました
- ・先発製剤と同じ添加剤設計
先発品との違いを解消し、より選択して頂きやすい設計にしました

新薬メーカーならではの情報提供

当社先発薬カルバン錠等の臨床経験も踏まえた新薬メーカーならではの情報提供活動を行っております。

- ・血圧手帳等、高血圧関連の指導せん
- ・高血圧関連プロモーションツール

アムロジピン「ケミファ」の売上高推移



以上の取り組みをもとに、各医療機関へのプロモーションや流通卸との連携強化を図り推販を行った結果、アムロジピン錠「ケミファ」は、2009年3月期決算において9億円以上の売上をあげ、業界トップクラスの実績となりました。今年度は、このアムロジピン錠「ケミファ」のさらなる普及活動に加え、今秋発売予定のアムロジピン OD 錠を新たな武器として、高血圧市場におけるさらなるシェア拡大に向けて取り組んで参ります。

2010年3月期 新発売品目

当社は、今期も17品目（規格追加対応7品目を含む）を新たに発売する予定となっております。

その中でも、昨年発売したアムロジピン錠「ケミファ」の新剤形（口腔内崩壊錠）である「アムロジピン OD 錠『ケミファ』」には大きな期待を寄せています。

5月新規薬価収載品目

一般名	品目数	規格	先発名
レボフロキサシン	1品目	100mg	クラビット
ピカルタミド	1品目	80mg	カソデックス
アレンドロン酸 ナトリウム	1品目	5mg	ボナロン フォサマック
合計	3品目		

規格追加を除く

11月新規薬価収載予定品目

一般名	品目数	規格	先発名
アムロジピンOD	2品目	5mg 10mg	ノルバスク アムロジン
メロペネム	2品目	0.25g 0.5g	メロペン
サルポグレラート	2品目	50mg 100mg	アンプラーグ
レバミピド	1品目	100mg	ムコスタ
合計	7品目		

規格追加を除く

ジェネリック医薬品市場拡大への環境変化

当社は、以下に挙げるジェネリック医薬品使用促進施策が整うこの2010年3月期が、当社ジェネリック医薬品事業のさらなる拡大に向けてのチャンスの年であると考えています。

・DPC 対象病院の拡大

2009年度の718施設から、1,200施設以上へと増加します。準備病院を含めると1,500施設以上がDPC関連病院となり、診療報酬の包括化に伴うジェネリック医薬品のニーズが高まることが予想されます。

・ジェネリック医薬品薬価収載時期の前倒し

ジェネリック医薬品の薬価収載が今年から従来の7月収載から5月収載へと2カ月早まることも、売上増収に寄与するものと考えています。

・薬価改定によるマイナス要因の影響が無い

今期は、薬価改定の影響がないことから、数量の伸びがそのまま売上高の伸長につながります。

・国の医療費削減施策に伴う環境整備

国立病院機構は、2013年度までに加盟145施設で使用するジェネリック医薬品の比率を数量ベースで現在の約2倍に引き上げるとの方針を発表しています。

また、国民健康保険被験者に対するジェネリック医薬品使用促進の働きかけも進んでおり、市場拡大へ向けたインパクトとなることが期待されます。

・相次ぐ大型品の特許切れ

前期のアムロジピンに引き続き、今期以降も相次ぐ大型品の特許切れが予定されており、ジェネリック医薬品市場拡大の起爆剤となることが見込まれます。